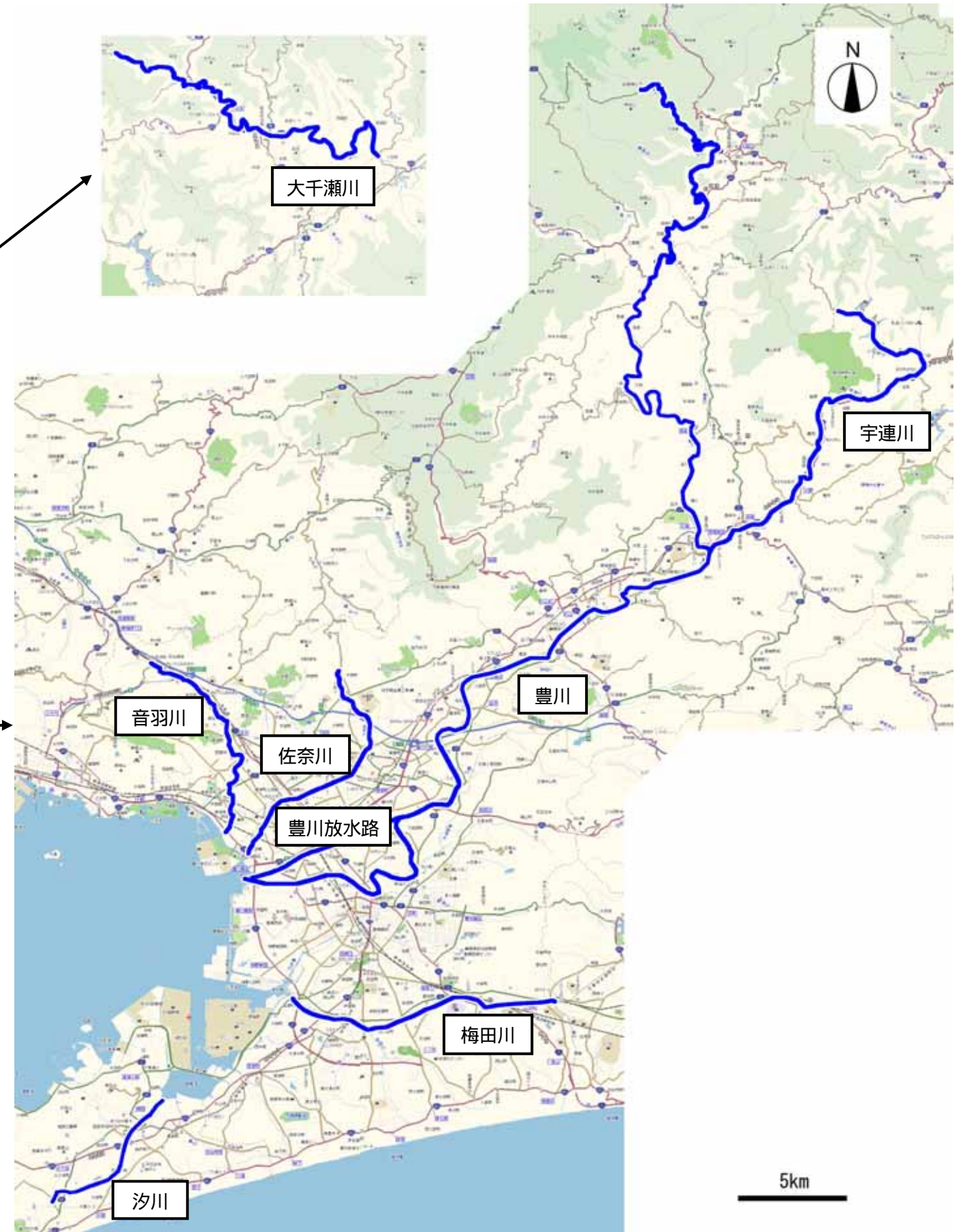
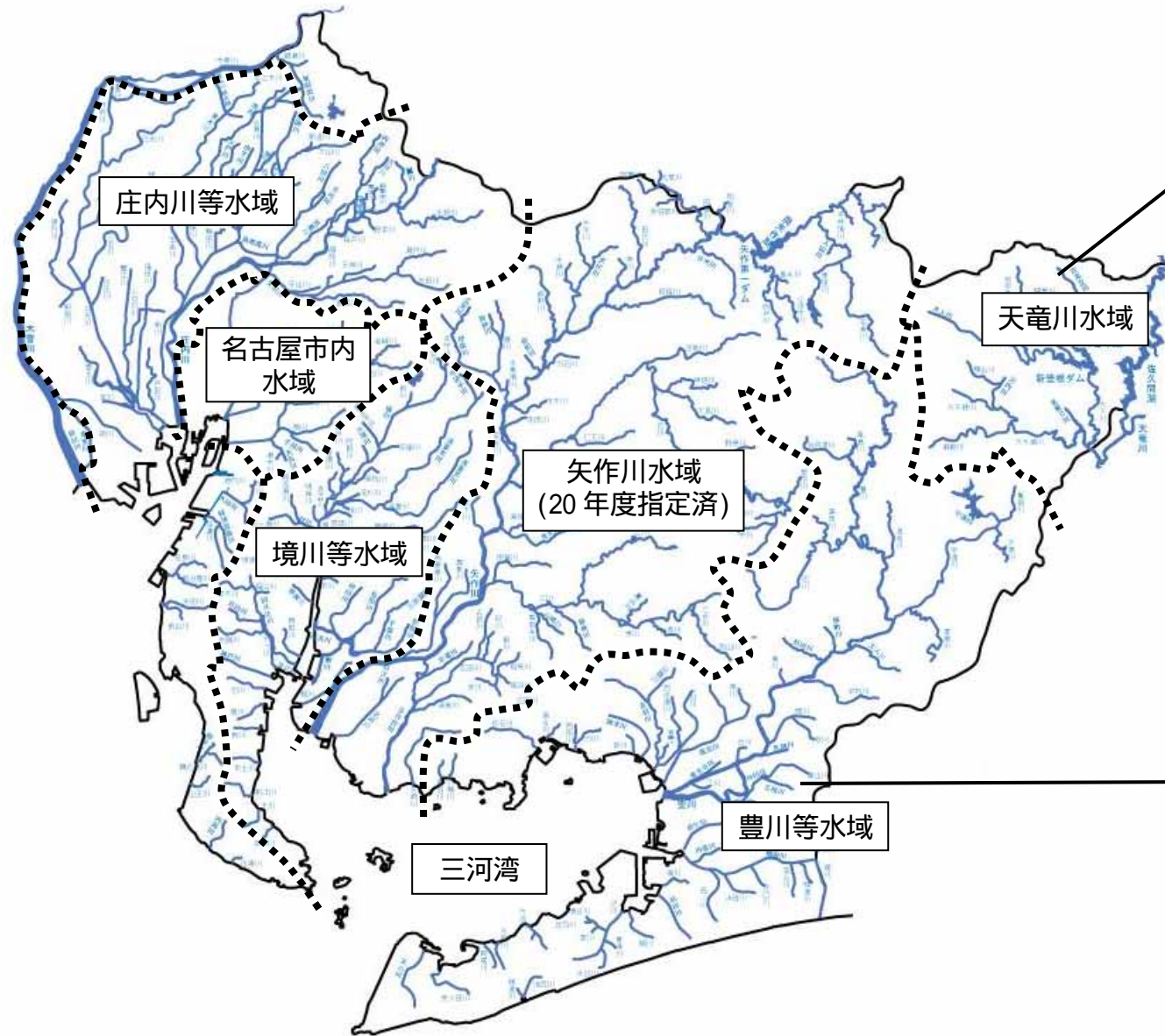
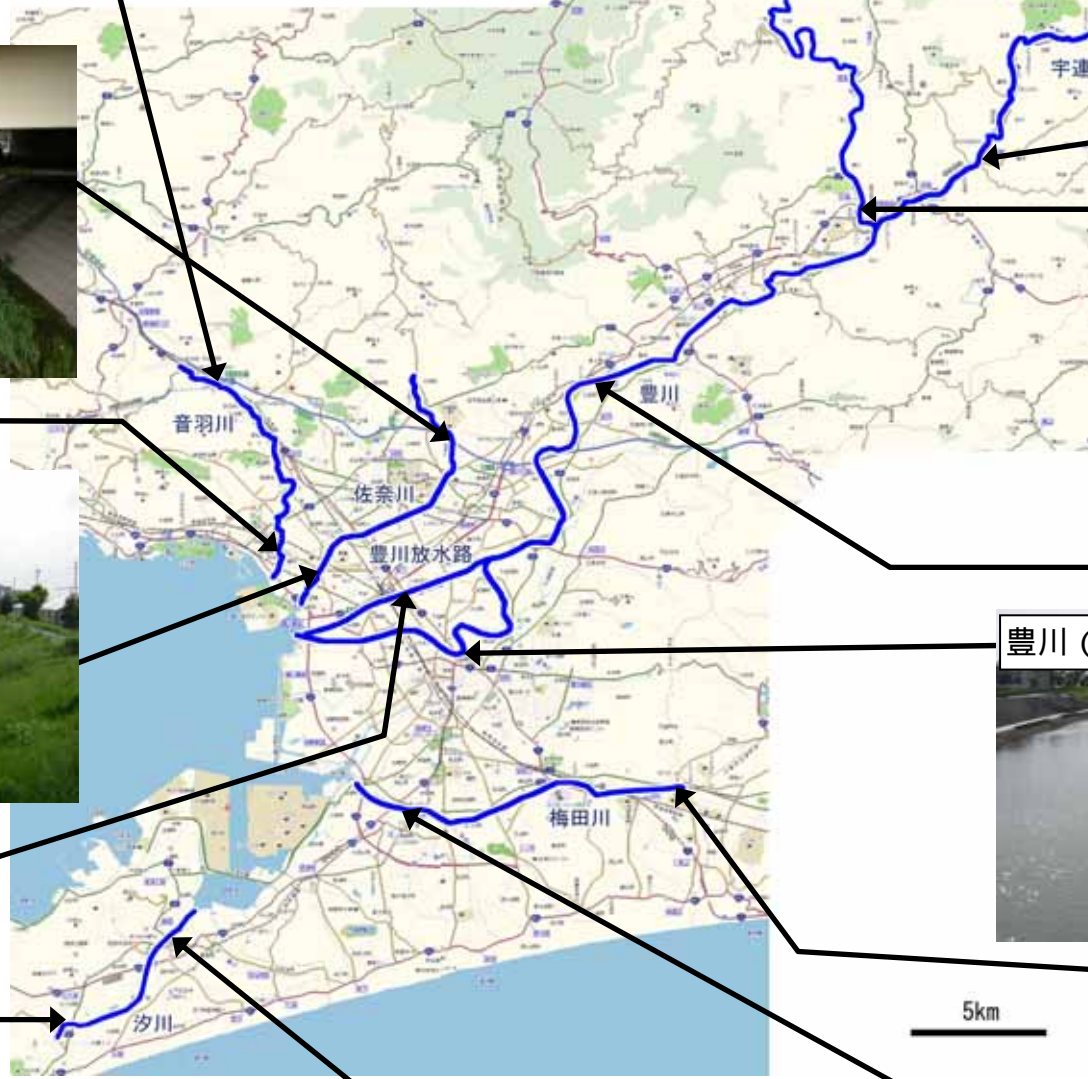


豊川等水域及び天竜川水域における各河川の調査結果の概略

愛知県知事が類型指定を行う水域





1 豊川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温( )		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
豊川 上流	AA類型	澄川合流点下		↑ ↓		×	↑ ↓				無	石 礫		生物A	直ちに達成	
		大名倉橋							11.4	20.3						
		松戸橋			×	×										
		鶴淵							12.3	21.7						
		当貝津川合流点下														
		出合橋			×											
		布里堰堤			×				12.8	21.6						
		寒狭川頭首工						↕								
		長篠堰堤			×											
		長篠橋			×				15.0	25.6						
		長篠大橋			×			↕								
豊川 中流	A類型	牛淵橋			×			15.2	25.5	無	岩盤 石	堰	生物B	直ちに達成		
		桜淵			×											
		石田					15.1	25.8								
		牟呂松原頭首工							頭首工							
		江島橋			×		15.9	26.9								
		金沢橋			×											
		賀茂橋			×											
		三上橋			×											
		当古橋			×		16.1	26.6								
豊川 下流	B類型	吉田大橋			×			17.0	29.0	無	砂					
		豊川河口														

凡例)

[地点名] ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点 [環境基準地点等] : 水質環境基準地点、 : 補助点

[水生生物生息状況] ヒアリング: 漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点

[魚類放流] 漁協が魚類を放流している範囲

[水温] 平均水温: 平成16~20年度の年平均値の5年平均 最高水温: 平成16~20年度の年最高値の5年平均

[保護水面等] 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚子の生育場として保護が図られている水域など [魚道] : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物A該当種(豊川上流): アマゴ、(豊川中流): サツキマス

生物B該当種(豊川上流): ウグイ、オイカワ、フナ類など、(豊川中流): ウグイ、オイカワ、フナ類、コイ、ウナギなど、(豊川下流): フナ類、コイ、ウナギ、ボラなど

放流された魚類 生物A該当種(豊川上流): ヤマメ、アマゴ 生物B該当種(豊川上流): ウナギ

## 2 宇連川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温( )		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
宇連川	AA 類型	鳳来湖		↑ ↓				↑ ↓	18.0	28.8	無	岩盤 石		生物A	直 ちに 達 成	
		宇連ダム							15.5	23.9			ダム			
		鳳来橋							15.1	23.4						
		柿平橋			×											
		宮下橋														
		養乙女橋			×		↓									
		桐谷橋			×											
		大野頭首工							15.0	22.5			頭首工			
		黄柳川合流点下			×											
		文化橋			×											
		豊川合流点上			×											

凡例)

[地点名] ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点 [環境基準地点等] : 水質環境基準地点、 : 補助点

[水生生物生息状況] ヒアリング: 漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点

[魚類放流] 漁協が魚類を放流している範囲

[水温] 平均水温: 平成16~20年度の年平均値の5年平均 最高水温: 平成16~20年度の年最高値の5年平均

[保護水面等] 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など [魚道] : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物A該当種: アマゴ 放流された魚類 生物A該当種: アマゴ  
生物B該当種: ウグイ、オイカワ、フナ類、コイなど 生物B該当種: フナ

## 3 豊川放水路

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温( )		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
豊川 放水路	C 類型	豊川分流堰								無	砂 石	堰	生物B	直 ちに 達 成		
		小坂井大橋		×			18.1	29.3								
		豊川放水路河口														

凡例)

[地点名] ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点 [環境基準地点等] : 水質環境基準地点、 : 補助点

[水生生物生息状況] ヒアリング: 漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点

[魚類放流] 漁協が魚類を放流している範囲

[水温] 平均水温: 平成16~20年度の年平均値の5年平均 最高水温: 平成16~20年度の年最高値の5年平均

[保護水面等] 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など [魚道] : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物B該当種: ウナギ、ボラ、テナガエビ

#### 4 音羽川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温( )		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
音羽川	C 類型	長沢橋			×						石 礫	堰・落差工		生物B	直 ちに 達 成	
		御油大橋			×							堰・落差工				
		為当橋			×							堰・落差工				
		剣橋						17.5	26.9	砂						
		永久橋			×											

凡例)

[地点名] ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点 [環境基準地点等] :水質環境基準地点、 :補助点

[水生生物生息状況] ヒアリング:漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点

[魚類放流] 漁協が魚類を放流している範囲

[水温] 平均水温:平成16~20年度の年平均値の5年平均 最高水温:平成16~20年度の年最高値の5年平均

[保護水面等] 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚子の生育場として保護が図られている水域など [魚道] :魚道あり

調査で確認された魚類 生物B該当種:オイカワ、フナ類、モクズガニなど

#### 5 佐奈川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温( )		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
佐奈川	D 類型	東名高速道路下			×					無	礫 砂	堰・落差工		生物B	直 ちに 達 成	
		荒古橋					15.8	26.6	堰・落差工							
		下佐脇橋			×				堰・落差工							
		柳橋					20.0	28.8								
		浜田橋					18.7	27.7								

凡例)

[地点名] ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点 [環境基準地点等] :水質環境基準地点、 :補助点

[水生生物生息状況] ヒアリング:漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点

[魚類放流] 漁協が魚類を放流している範囲

[水温] 平均水温:平成16~20年度の年平均値の5年平均 最高水温:平成16~20年度の年最高値の5年平均

[保護水面等] 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚子の生育場として保護が図られている水域など [魚道] :魚道あり

調査で確認された魚類 生物B該当種:オイカワ、フナ類、ナマズなど

## 6 梅田川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温( )		保 護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
梅田川	C 類型	飛越橋			×				18.6	28.8	無	礫 砂	堰		生物B	直 ちに 達 成
		沢渡橋						17.7	28.1	堰						
		高田橋			×					堰						
		御厩橋						19.0	29.2							
		浜田川合流点上			×											
		植田橋			×			17.8	28.9	砂		堰				

凡例)

[地点名] ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点 [環境基準地点等] :水質環境基準地点、 :補助点

[水生生物生息状況] ヒアリング:漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点

[魚類放流] 漁協が魚類を放流している範囲

[水温] 平均水温:平成16~20年度の年平均値の5年平均 最高水温:平成16~20年度の年最高値の5年平均

[保護水面等] 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など [魚道] :魚道あり

調査で確認された魚類 生物B該当種:オイカワ、フナ類、ウナギ、テナガエビなど

## 7 汐川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温( )		保 護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
汐 川	E 類型	幸田橋			×						無	礫 砂			生物B	直 ちに 達 成
		赤松一本橋			×											
		船倉橋						19.1	31.3	砂・泥						

凡例)

[地点名] ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点 [環境基準地点等] :水質環境基準地点、 :補助点

[水生生物生息状況] ヒアリング:漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点

[魚類放流] 漁協が魚類を放流している範囲

[水温] 平均水温:平成16~20年度の年平均値の5年平均 最高水温:平成16~20年度の年最高値の5年平均

[保護水面等] 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など [魚道] :魚道あり

調査で確認された魚類 生物B該当種:フナ類、ドジョウなど

8 大千瀬川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温( )		保 護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
大千瀬 川	AA 類型	林橋		↑ ↓				↑ ↓			無	石		生物A	直 ち に 達 成	
		御殿橋							13.9	24.6						
		振草頭首工											頭首工			
		浄水公園			×											
		常磐橋			×				13.4	24.0						

凡例)

[地点名] ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物(魚介類)の調査を実施している地点 [環境基準地点等] : 水質環境基準地点、 : 補助点

[水生生物生息状況] ヒアリング: 漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果: は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点

[魚類放流] 漁協が魚類を放流している範囲

[水温] 平均水温: 平成16~20年度の年平均値の5年平均 最高水温: 平成16~20年度の年最高値の5年平均

[保護水面等] 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は稚稚子の生育場として保護が図られている水域など [魚道] : 魚道あり

調査で確認された魚類 生物A該当種: アマゴ  
生物B該当種: ウグイ、オイカワなど  
放流された魚類 生物B該当種: ウナギ